

# 平成 28 年度第 2 回青森市子ども会議開催概要

- 1 日時 平成 28 年 5 月 28 日（土） 9 時 30 分～12 時 00 分
- 2 場所 青森市総合福祉センター2 階 集会室
- 3 出席者 平成 28 年度青森市子ども会議委員 20 名（欠席者 12 名）  
平成 28 年度青森市子どもサポーター2 名（欠席者 2 名）  
事務局 3 名
- 4 活動内容 ・身の回りの興味・関心のあることをテーマにした活動について  
・3 年後、5 年後の青森市のまちづくりに向けた継続的な取組について など
- 5 開催概要

今年 2 回目の開催となる今回の会議は、11 月開催予定の「青森市子どもの権利の日」イベントに向けた活動のテーマ決定や、初めての試みとなる、「3 年後、5 年後の青森市のまちづくりに向けた継続的な取組」についての話し合いなどを行いました。今回の会議には、子ども会議委員 20 名、子どもサポーター2 名が参加しました。

はじめに、「身の回りの興味・関心のあることをテーマとした活動」について、子どもたちから事前に提出してもらった活動案をまとめた下記の資料を見てもらい、今年度の活動テーマについて話し合いをしました。子どもたちの中から司会進行役と書記係を決め、グループに分かれて話し合った後、まとまった意見を発表することにしました。

資料1  
子どもたちの提案による主体的な活動テーマ  
《身の回りの興味のあることをテーマとした活動案》  
H28.5.28  
子ども会議

『文化・観光』 に 関 係 す る テ マ	『交通』 に 関 係 す る テ マ	『環境』 に 関 係 す る テ マ	『健康・食』 に 関 係 す る テ マ	『子どもの居場所』 に 関 係 す る テ マ
<p><b>新町の活性化に関する活動</b> （空きテナントが多いので、どうしても廃れて見えてしまう。アワガ等内に入っている店舗も、年配の方々が多く、若い人たちの興味をあまり引いていないか。利用百年歴史を上げる客を増やす等）</p> <p><b>青森市の観光の魅力を増やす活動</b> （青森市には、きれいなところがあるので、それをもっと地元の人が発信し、観光客の来訪を促す。）</p>	<p><b>津軽三味線に関する活動</b> （もともと青森文化に関わり、知れると、広めたいから津軽三味線について知りたい。子どもたちが体験できること、文化に関われる青森市であればいいなと思うから。）</p> <p><b>交通・道路に関する活動</b> （八戸より高速道路が発達していないから、もう少し交通を便利にしてほしい。青森自動車道と青森 I C とみちのく有料道路をつなげるなど。）</p> <p><b>道路・交通面の整備に関する活動</b> （道路などの交通面の整備をしてほしい。通学中に何回も事故が起きているところ、金沢小学校近くで事故が多いところを耳にしたから。）</p>	<p><b>公園の緑化に関する活動</b> （青森市には、遊具があつてたくさん遊べる場所はあるが、緑が少ない公園ばかりだから。）</p> <p><b>環境美化に関する活動</b> （まちにゴミ箱を増やす活動） （今年、ユウランドで海生した際、歩道にゴミが日本より設置されているのを見て、びっくりしたから。） （青森市には、ゴミが多いと思うから、ゴミ拾いをしたい。）</p> <p><b>環境美化に関する活動</b> （まちにゴミ箱を増やす活動） （今年、ユウランドで海生した際、歩道にゴミが日本より設置されているのを見て、びっくりしたから。） （青森市には、ゴミが多いと思うから、ゴミ拾いをしたい。）</p> <p><b>自然・資源に関する活動</b> （また、古い古紙を出すと、自然（資源）を大切にできる青森市であればいいと思うから。）</p> <p><b>雪の有効利用に関する活動</b> （雪解け水を利用して農業や冷間に使えばいい。雪を工夫して無駄の無いような使い方をすればいいと思う。）</p> <p><b>被災地支援に関する活動</b> （自然災害は人の手で防げるものではないから、起きてしまった後の助け合いが大切だと思うから。被災地や熊本地震等への募金（ユニセフ等）も。）</p>	<p><b>子ども向け健康レシピに関する活動</b> （今年、レシピ子どもでも簡単に作れる、健康的なものを作りたい。その考えをレシピを幼稚園・保育園児、小学生・中学生を中心に広めたいイベントがあるから、子どもたちと一緒に行いたい。知ったレシピ、知ったレシピ、知ったレシピから。）</p> <p><b>青森の平均寿命を延ばす活動</b> （平均寿命のワースト1位を改善したい。平均寿命の向上に貢献したい。）</p> <p><b>自然・資源に関する活動</b> （また、古い古紙を出すと、自然（資源）を大切にできる青森市であればいいと思うから。）</p> <p><b>雪の有効利用に関する活動</b> （雪解け水を利用して農業や冷間に使えばいい。雪を工夫して無駄の無いような使い方をすればいいと思う。）</p>	<p><b>小学生の居場所づくりに関する活動</b> （小学生が楽しく過ごせる青森市にしたい。小学生時代、ルールが多すぎたり、設備が少なかったりして、居場所がなく窮屈だった。小学校の先生と話し合ったり、市長さんに提案したりして改善していきたい。）</p> <p><b>子どもが参加できるイベントに関する活動</b> （小学生限定（8歳以下）、18歳以上の体験イベントは多いが、中学生・高校生が参加できる体験イベントが少ないから、中学生、高校生が参加できるような体験イベントをもっとほしい！）</p> <p><b>公園を利用したイベントに関する活動</b> （あまり利用されていない公園を利用し、子どもから代り大人まで楽しんでもらえるような企画を行いたい。公園など公共施設を有効活用したい。お金をかけて買った公園が、みんなが楽しんでくれるから。）</p>

最初の議題は、「今年度の活動テーマは『文化・観光』、『交通』、『環境』、『健康・食』、『子どもの居場所』の5つでいいか」ということについて話し合い、「『交通』のテーマは、『環境』の中に加えたらいと思う。」という意見で一致し、今年度は、

①『文化・観光』

②『環境』

③『健康・食』

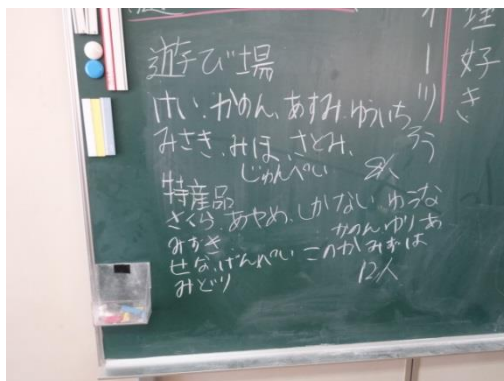
④『子どもの居場所』

の4つのテーマでグループごとに別れ活動していくことに決定しました。その後、どのテーマで活動したいか希望を取り、グループ分けをしました。なお、今回の会議を欠席した子ども会議委員には、後日どのテーマで活動したいか希望を取り、グループ分けをします。



続いて、「3年後、5年後の青森市のまちづくりに向けた継続的な取組」についての話し合いを行いました。この取組は、今年度から初めて取り組むもので、イベントでの意見表明で終わるのではなく、複数年をかけて子ども会議委員自らがアイデアを出して調査し、数年後に何らかの形として残すことを目指すものです。

子どもたちから事前に提出してもらったアイデアを基に、どんな取組を行うかについて話し合いました。「気軽にみんなが遊べる場所を作りたい!」、「特産品を使用したお土産を考案したい!」、「もっと新町を活性化させていきたい!」など、子どもの視点からの自由な発想で様々な提案がありましたが、子ども会議委員全体で活動するため、テーマを2つに絞ることにしました。話し合いの結果、「遊び場」と「特産品」の2つのテーマで活動していくことに決まりました。



最後に、事務局から、平成26年度から行っている「ねぶた祭り参加による子どもの権利等に関する普及啓発活動」の際に着用する子ども会議Tシャツについて、今年度のデザイン案を次回の会議で提出してもらうように連絡し、今回の会議は終了しました。

次回は、子ども会議委員に子どもの権利等について理解していただくための「子どもの権利に関する学習会」や、青森市で策定を予定している「(仮称)青森市子どもの権利の保障に関する行動計画」について、子ども会議委員からの意見聴取を行う予定としています。